

決算報告書

(第 43 期)

自 2024年 7月 1日
至 2025年 6月 30日

ジェイ・ネクスト株式会社

東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル23F

貸借対照表

2025年 6月 30日

(当期会計期間末)

ジェイ・ネクスト株式会社

(単位：円)

[illegible]

損益計算書

自 2024年 7月 1日 至 2025年 6月 30日

(当期累計期間)

ジェイ・ネクスト株式会社

(単位：円)

科 目	金 額	
【売上高】		
紹介売上高	8,107,957	
委託売上	362,471,282	
派遣売上高	1,336,196,735	
売上値引	△140,780	1,706,635,194
【売上原価】		
当期製品製造原価	1,402,097,148	1,402,097,148
売上総利益		304,538,046
【販売費及び一般管理費】		364,007,407
営業利益		△59,469,361
【営業外収益】		
受取利息	86,444	
雑収入	15,566	102,010
【営業外費用】		
支払利息 (CMS)	1,384,814	
雑損失	264,910	
その他営業外費用	42,790	1,692,514
経常利益		△61,059,865
税引前当期純利益		△61,059,865
法人税等		1,458,433
当期純利益		△62,518,298

個 別 注 記 表

(自 2024 7月 1 日
至 2025 6月30日)

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。

なお、耐用年数および残存価格の基準は、経済的実態に即しております。

また、主な耐用年数は以下の通りであります。

建物及び付属設備 3年～15年

器具備品 2年～3年

②無形固定資産（リース資産を除く）：定額法

主な耐用年数は、自社利用目的のソフトウェアについては、社内における利用可能期間である5年です。

③リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法です。

(3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。なお、当会計年度の件計上はありません。

(4) 消費税等の会計処理

消費税および地方消費税額の会計処理は、税抜方式によっております。

(5) 収益及び費用の計上基準

履行義務が一時点で充足される場合には、サービスの提供が完了した時点で、当該履行義務が充足されると判断し、収益を認識しております。

2. 会計方針の変更に関する注記

当該事項はありません。

3. 表示方法の変更に関する注記

当該事項はありません。

4. 貸借対照表に関する注記

- (1) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務（区分表示したものは除く）

短期金銭債権	4,488千円
短期金銭債務	191,772千円

5. 損益計算書に関する注記

- (1) 関係会社に対する取引高

各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。

① 売上高	64,333千円
② 売上原価	1,597千円
③ その他の営業取引	146,970千円
④ 営業取引以外の取引高	1,399千円

6. 株主資本等変動計算書に関する注記

- (1) 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式	17,151 株	—	—	17,151 株

7. 税効果会計に関する注記

該当事項はありません。

8. 関連当事者との取引に関する注記

- (1) 親会社及び関連会社等

種類	会社の名称	議決権等の 所有（被所有） 割合	関連当事者との 関係	取引の内容	取引額 （千円）	科目	期末残高 （千円）
親会社	インパクトホールディングス(株)	被所有 間接 100%	経営指導の委託 資金の貸付 役員の兼任	CMS の借入 (注) 1	143,174	短期貸入金	175,690
				利息の支払	1,384		

(注) 1. 資金の貸付及び借入による利率については、市場金利を勘案し合理的に決定しております。

9. 1株当たり情報に関する注記

- (1) 1株当たり純資産額

1,129 円 92 銭

- (2) 1株当たり当期純利益

△3,645 円 16 銭

10. その他の注記

当該事項はありません。